私の決意

日常生活の様々な場面で、国や社会が壊れていると感じています。
自己責任、自助努力では到底乗り越えられない格差の壁が立ちはだかり、
将来の夢を持つことすらできない子どもたち。長年働いているのに、
賃金が上がらない非正規雇用の方々。子育てと仕事の両立に悩むご夫婦。
慢性的な人手不足や過重労働で疲弊する現場の方々。
わずかな年金しかなく、食費を削っている高齢者の方々。
他方で、数億円に上る裏金問題に対する責任を取ろうとしない国会議員たち。

このままでいいはずがありません。

まじめに働く人々が報われる社会を取り戻したい！
富山市から「人にやさしい政治」を一緒に実現しましょう。

1979年12月	愛知県江南市生まれ
2002年3月	立命館大学法学部法学科 卒業
2006年3月	立命館大学大学院社会学研究科 修士課程修了
2007年5月 ～2020年11月	愛知県江南市議会議員 連続当選4回（通算13年1ヶ月在職）
2020年11月	富山市に移住し、国政をめざした活動を開始
2022年7月	参議院議員選挙（富山県選挙区）に立候補
現在	立憲民主党富山県総支部連合会　副代表 立憲民主党富山県第1区　総支部長

趣味 … 旅行 フランス語の学習

命と生活が最優先の政治に！

子ども・子育てを社会をあげて応援します

場当たり的な支援策では少子化を止めることはできません。
結婚・出産・子育て・学びに立ちはだかる「壁」を取り除くため、
切れ目のない支援を断行します。

子ども予算を抜本的に強化し、子育てや教育の経済的負担を減らします。賃上げの加速や労働法制の強化など働き方改革を進め、希望がかなう社会をつくります。

真の立憲主義を確立します

緊迫化する国際情勢や近隣諸国の動向を理由に、防衛費倍増（5年間で43兆円）や「敵基地攻撃能力」の保有が議論されています。
こうした動きは「抑止力」にならないばかりか、近隣諸国との緊張を高め、
一層の軍拡を招きかねません。

不測の事態に備えて、専守防衛を遵守して真に必要な防衛力を整備します。
同時に、国際協調に基づいた平和外交を積極的に展開します。
憲法が掲げる「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を堅持し、
立憲主義を深化させる観点から未来志向の憲法議論を行います。

国民のくらしを守り抜きます

- 能登半島地震の被災者の生活再建に向けた支援
- 雇用は「無期・直接・フルタイム」を基本原則に
- 中小企業・フリーランスへの賃上げ支援
- 消費税のインボイス制度の廃止
- 暮らせる年金制度の確立
- 地域公共交通の運行支援
- 食の安全と自給率向上
- マイナンバーのトラブルの全容解明と紙の保険証の存続